





固体触媒中のヒドリドが窒素還元反応に及ぼす影響の 理論化学的な考察

沙池田 京^{1,2}, 吉澤 一成²
(¹九州大学大学院工学府物質創造工学専攻博士後期課程2年 ²九州大学先導物質化学研究所)

Introduction 金属表面に存在するヒドリドが窒素分子開裂反応を触媒



Results and discussion

・CI-NEB法による活性化エネルギーの見積もり



Ling, C., et al. J. Am. Chem. Soc. 2019, 141, 18264–18270.

✓ 金属表面のヒドリドが窒素に求核攻撃
✓ ヒドリドの求核攻撃でN-N結合は活性化
✓ ヒドリドの求核攻撃でN-N結合開裂の活性化障壁を低下

Pdは水素吸蔵合金→固体中にもヒドリドを多数保有!

- 目的 固体中存在するヒドリドが窒素還元反応に及ぼす影響を 理論化学的に考察し、新規触媒設計の指針を得る。

Computational method

計算条件

Program: **VASP** Functional: **PBE**

Cut-off energy: 400 eV

k-point: Automatic mesh 0.05 x 2π/a

Optimization convergence criteria: **0.02 eV/Å** Transition state (TS) search: **CI-NEB** TS Convergence criteria: **0.05 eV/Å**



・反応開始時の電子状態



Pd: +0.1e, H: -0.1e \longrightarrow 電子移動(Pd \rightarrow H) \longrightarrow $\begin{bmatrix} \cdot d - band centerの低下 \\ \cdot \vdash F \cup F \overline{u} F \overline{u$

・金属表面のヒドリドの窒素分子への求核攻撃には2 eV以上の活性化エネルギーが必要である。
・金属中に存在するヒドリドは金属から電子を受け取り、
金属のd-band centerを低下させ、活性化障壁を大きくする。

今後の展望

dopant→Pdのような電子移動が起きる物質での反応も検討する。 例: Pd-^{int}Li _{Elis, I. T., *et al. Chem. Commun.,* **2017**, 53, 601–604.}